

2024年度 第2回 藤沢市立善行中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年 7月 2日（火） 10時～11時40分

場 所 善行中学校 図書室

出席委員	植木 春雄（善行地区自治会連合会会長） 亀谷 亀雄（会長・善行地区自治会連合会副会長） 松森 裕二（善行市民センター センター長・善行公民館 館長） 人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう事務局長） 土肥 恵子（善行中学校PTA会長） 斎藤 正枝（善行三者ふれあいネットワーク会長・善行地区青少年育成協力会会長） 松本 美由紀（社会福祉協議会（CSW）） 野島 美沙（善行中学校前PTA会長） 渋谷 弥生（一般社団法人善行大越スポーツクラブ アシスタントマネージャー） 高森 保明（副会長・校長） 奥津 利香（生徒支援担当教諭） 安室 康子（教頭） 【欠席者】 なし 【傍聴者】 なし
次第	1. 開会 2. 学校の様子について 3. 議題 （1）今年度の取り組みについて ・座談会開催について ・コモンスペースについて （2）その他 ①標準服の改訂の経過報告 ②体育着の変更について ③コーディネーターについて ④その他 4. その他 5. 閉会
協議内容	2. 学校の様子について <校長> 5月下旬からの学校の様子を説明しました。 1年八ヶ岳、3年修学旅行、1・2年空手の授業（今年度からの取り組みです） 壮行会（応援団を含む）、夏の市総体、単元テスト <司会> 質問ありますか。 <委員> 質問なし 3. 議題 （1）今年度の取り組みについて

・座談会開催について（3月9日）

<校長>

昨年度、3月9日に、市民センターをお借りして、コミスク主催で「森の仔じゆうがっこう」の人見委員に中心になっていただき座談会を開催しました。当日は2名の方にご参加いただきました。

この取り組みについて、どうだったのか、今後どのようにしていけば良いか、話し合いをしていただきたいと思います。

まずは、人見委員から前回開催した座談会の様子について話していただきます。

<人見委員>

当日のことについては、率直に言うとは善行中の保護者の中で成功に終わったと思います。

周知がギリギリだったため、参加者が2名でした。もっと多くの方が集められれば良かったと思います。他の委員の方にも手伝っていただいたが、「森の仔じゆうがっこう」のスタッフにも手伝ってもらい開催しました。もっと、コミスクの委員にいろいろお願いして、コミスク全体で運営していければ良いと思いました。

参加された方は、満足していました。思いを話していただき、関わる事ができたと思います。もっと、コミスク全体で関われる会にしたいです。

<松本委員>

参加された方は、満足していました。参加していただいた方の思いをもっと聞くことができたら良いと思いました。もっと、密な関わりができるが良いです。

<校長>

ありがとうございます。ざっくばらんにご意見いただきたいと思います。

<齋藤委員>

コミスクみんなで関わる事ができるお茶会的なものが良いのではないのでしょうか。

<亀谷会長>

第1回は、初めての会見で取り組みが難しかった。全面的にご指導いただき発展した物にしていきたいです。

新たな試みなので、いろいろと経験しながら、人を集める方法を考えていく必要がありますね。第1回も反省を元にして第2回を開催し、継続していくこと意味があるのではないのでしょうか。

<校長>

保護者の立場では、開催の時期、案内のプリントを見たときにどんなことを感じますか。ご意見をお聞かせください。

<野島委員>

文字だけが書いてあるプリントなので、イメージしにくかったように思います。興味を持つのにインパクトが少なかったです。

<土肥委員>

受験の時期と重なり、多くのプリントがある時期だったので、学校のプリントの1つとして見てしまいました。もう少し、時期が早い方が良いのではないのでしょうか。

<校長>

会を開催するに当たって、持ち出しもあつたのではないですか。

<人見委員>

物品は、画用紙。ポストイットなどの文房具の持ち出しがありました。また、当日「森の仔じゆうがっこう」のスタッフにも手伝ってもらったので、人件費もかかっています。今回初めての取り組みだったので、配慮や専門性が必要だと思って「森の仔じゆうがっこう」のスタッフに手伝ってもらいました。

<齋藤委員>

まだわからない部分があり、費用にも上限はありますが、9月以降申請すれば運営費は出るそうです。藤沢全体のことなので、少ないかもしれないが申請すれば費用が出るかもしれません。この費用を座談会の講師料等に当てることはできると思います。

<亀谷会長>

センター長、妙案はないですか。

<校長>

コミスクみんなが関わることができる形で運営を考えていきたいです。

<亀谷会長>

ハードルを低くして、参加しやすい形を考えていけるとよいのではないのでしょうか。

<人見委員>

対象の人を広げて、とにかく皆さんで話をしようという形にすればよいのではないのでしょうか。

第1回は時間が無くて3月だったので、次はお茶会のようなライトの形で、保護者の方に保護者同士聞きたいことを話してもらい、その後で専門的な人につなげられると良いのではないのでしょうか。そして、ちょっと学校の情報を聞きたいという形で良いのではないのでしょうか。

<校長>

そこで、お茶会等形で開催できると良いと思います。

<亀谷会長>

人見さんに訓練してもらって、何回かそのための打ち合わせをして、第2回に臨む立案が必要だと思います。

<人見委員>

専門的な部分をどれだけ学べるかは難しいが、どういうスタンスで話すかは合わせていけると良いですね。聞く立場のすりあわせが必要だとおもいます。

<野島委員>

PTAの中で、子どもが学校に行っていない家庭では、子どもが学校に行っていないのにどうしてPTA活動をしなければならないのかと思っている家庭もあります。また、PTA活動の中で、仕事と役員を両立するのは大変だと感じています。PTAのあり方や親と学校と地域について話しても良いのではないのでしょうか。

<松本委員>

3月に来られた方も来ることに悩んだとおっしゃっていました。もっと、フラットな場になると来やすいし、行ってみようかなと思うのではないのでしょうか。PTAの活動やコミスクの活動について考える場にしてはどうでしょうか。

<渋谷委員>

大越スポーツクラブは、スポーツ祭りで、トランポリンを提供しています。そのときにどなたでも参加できます。

トランポリンを習いたい、学校に行っていなくても習いたいという方がいる。

少人数の中で順番を守ったり、跳んで生き生きとしていたり姿を見て保護者の方もうれしく思ってくれています。障がいのある子も併せて100人活動しています。大越スポーツクラブの活動している人数の半数がトランポリンをしています。スポーツを通して、人と関わるきっかけや順番を守る等のルールを学び、体を動かすことで生き生きとした顔を見ることが出来ます。トランポリンを通して心を開いてくれる方がいるようです。横須賀には、絵を通して他人との関わりを深めるクラブもあると聞いています。

<校長>

ありがとうございました。第1回を通してなんとなく形が見えてきました。

間口を広げて、コミスク委員が参加し、茶話会を広げられてら良いのではないのでしょうか。

まずは、家から一歩出ていただいて、私たちみんなが関わることができる会にしたいと思います。

<人見委員>

大人もトランポリン跳べますか？大人も跳びたい人いますよね。茶話会とトランポリン体験会の組み合わせで開催できたら、良いのではないのでしょうか。トランポリンした後に、茶話会をして話をするような会でもいいですね。

<渋谷委員>

トランポリンをすると不思議と笑顔になり、心を開いたところでお話をするのも世界が変わるかもしれません。きっかけにはいいかもしれないですね。

<人見委員>

トランポリンと茶話会、コミスク、PTAの活動が紹介し、善行中学校の情報があれば良いと思います。それを、コミスクの委員が見守るようにしてはどうでしょうか。

PTAの都合の良い時期はどの時期なのでしょう。

<土肥委員>

夏休みとか、みんながお休みの時期よいと思います。

活動しようかなと思える時期がいいのではないのでしょうか。

開催日は土日の方が保護者の参加者が多いと思います。

<渋谷委員>

費用面は、部活等で申請してお願いできないのでしょうか。

<校長>

費用は、学校として今年度決まっているので申請できません。また、部活は善行中で活動している部活に配当されているのでそこからの工面は難しいです。

茶話会のトランポリンもできるようにして、お金がかからないような方向で考えていけるとよいのではないのでしょうか。

<会長>

一気に今日テーマを詰める必要は無いと思います。皆さんがお休みの日という発言がありましたが、土曜日は結構いっぱいだと思う。

<渋谷>

トランポリンを使うとなると3人のスタッフが必要になります。予算的にもおいおい考えていければ良いと思います。せっくなのでトランポリンを使っただいただいても良いと思っています。

<会長>

PTA会長の方でみんな休みの日の方が良いという発言がありましたが、必ずし

も土日ではなく夏休みとか、冬休みでもいいと思っても良いか。

<野島委員>

土日の方が活動できる保護者が多い。平日マックスで働いている保護者が多いので、考えてあげないと参加したいけど無理だよねとなってしまいます。土曜日だけとか日曜日だけとかの方が良いと思います。

<渋谷委員>

トランポリンは、茶話会みたいな会が、定期的に行われる中の何回かの1回の予定が合う日に出すことができると思います。

お子さんではなくて、保護者の方が参加する会ということですか。

<校長>

そうです。参加費を募りますか。

<人見委員>

お金が一番かからない方法が良いのではないですか。

トランポリンは、また予算との兼ね合いが明確になったところでお願いできれば良いのではないですか

集まれる方が集まって、夏休みの土曜日とかに茶話会を開催できるとよいと思います。

コミスクの活動とPTAの活動を説明できるようなら、そんなに準備はいらないと思います。9月が始まってからでも良いと思います。

<校長>

茶話会で、グループで話をする、コミスクの紹介 PTA 活動の紹介ができるとういですね。

10月以降に開催でいかがですか。

<人見委員>

コミスクの紹介が難しい雰囲気だったら、PTAの活動紹介と茶話会にしてコミスク主催にしたら良いのでは

PTAが普段していることを紹介して、保護者の方が積極的に参加できるような会ができるとよいのではないのでしょうか。そのすれば保護者の集まる会になります。

<土肥委員>

発信源はあった方が良いです。

<人見委員>

PTAの活動紹介と茶話会でどうでしょう。

テーブルごとに、学校のこと、部活のこと、地域のことと振り分けて話し合いを行った後、困りことがあたらこういう機関がありますよと紹介し、つながりたい方がいたら僕らに対応していくような感じで良いのではないかと思います。

<土肥委員>

発信としては、私は賛成です。試してみるのもありだと思います。

<校長>

トランポリンは、また別の機会に検討したい。

場所は、学校の体育館かな、新人戦を外して10月の後半の方になるかな。学校の方から発信をしていきます。

<亀谷会長>

10月は立て込んでるので、10月は厳しい。11月とかでどうでしょうか。

<人見委員>

10月4日にコミスクがありますよね、翌日はどうですか。

<校長>

新人戦前なので難しいかなと思います。

<亀谷会長>

人見さんに意見を伺いたいのですが、この内容で行うとして、このメンバーとプラスアルファを含めて、実行委員会になるのか、何回か集まって、リハーサルを含めてやらないと難しいのでは。

<人見委員>

30分か1時間ぐらいで、コミスクの中で、こんな風に当日していこうとかを確認できれば良いと思います。

場を設けて企画することで良いのではないのでしょうか。

日程は学校の方で組んでいただいて、参加できる委員が参加する方向でいいのではないかと思います。

<校長>

10月4日に、その話をさせていただいて良いですか。

10月の前半から11月の後半にやりたいと思います。

<人見委員>

周知の方法は、詰めなくて大丈夫でしょうか。

<校長>

チラシなどは、次回のコミスクで事務局が作ってみてもらえるようにします。

<司会>

日程は、後日委員の方に候補日をお知らせし、決定することにします。

(2) その他

<事務局より>

次のことを報告しました。

- ①標準服の改訂の経過報告
- ②体育着の変更について
- ③コーディネーターについて
- ④その他

4. その他

特になし

5. 閉会

次回の会議日程を確認して、会議を終了しました。

次回は、10月4日(金) 10:00～

<授業参観>

競技会終了後、4時間目の授業を参観して12:00に解散しました。

次回開催日程

2024年 10月 4日(金) 10時～
場所 善行中学校図書室